

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章は、能楽を通して論じた白洲正子^{しらす}氏の芸術論の一部です。この文章の主旨を踏まえて、新しいものを創造することに関するあなた自身の考えを、具体的な例をあげながら1,000字以上、1,200字以内で述べなさい。

非公開

(白洲正子, 『ものを創る』, 新潮社, 2013年, 43~44ページ, 一部改変)

注釈

- 1) 梅若實さん・・観世流の能楽師。梅若實は五十四世梅若六郎(1878~1959)の隠居名。
- 2) 六郎さん・・観世流の能楽師。五十五世梅若六郎(1907~1979)。五十四世梅若六郎の長男。

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

法文学部 人間科学科

出題の意図

人間科学科では、人間は何のために生き、どのような社会を、どのように築き、そしてどこに向かおうとしていくのか、その根源的な問いを考えていくことを目標にしている。人間科学科の各専攻課程がアドミッション・ポリシーで明らかにしている諸能力のうち、特に、理解力、考察力、論理的思考力、記述力等を総合的に小論文によって判断する。

この資料は、白洲正子氏が能楽を通して論じた芸術論の一部である。現代社会は新しいものが日々創られ、絶え間なく変化している。そのような中で歴史を通して成立してきた慣習という伝統によりながら、人間は思考し、生きている。新しいものを創造するということについて、本文の主旨を踏まえた上で具体的な例をあげながら独創的・論理的に表現する能力が求められる。